

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

見聞・鳥栖の健康遊涼地	2
◆	
移動保健センターを開設	7
理容士の全国大会優勝目指す岩田さん	8
「生ごみ処理容器」購入に半額補助	10
鳥栖北部丘陵新都市愛称決まる	12
いけいけ/フューチャーズ「JFL開幕」	13
新企画・ふるさと再発見「ジャンクション」	14



猿まわしで世代間交流

真心の園で5月11日、阿蘇猿まわし劇場の公演が行われ、8歳雄猿の「じゅん」君が輪くぐりや安来節などを披露。世代間交流などを目的にした社会福祉協議会の事業の一環で施設入所者のほか、平田老友会と鳥栖園の園児も招かれ、一緒に猿まわしを楽しみました。

6

平成7年 No.783

1日号

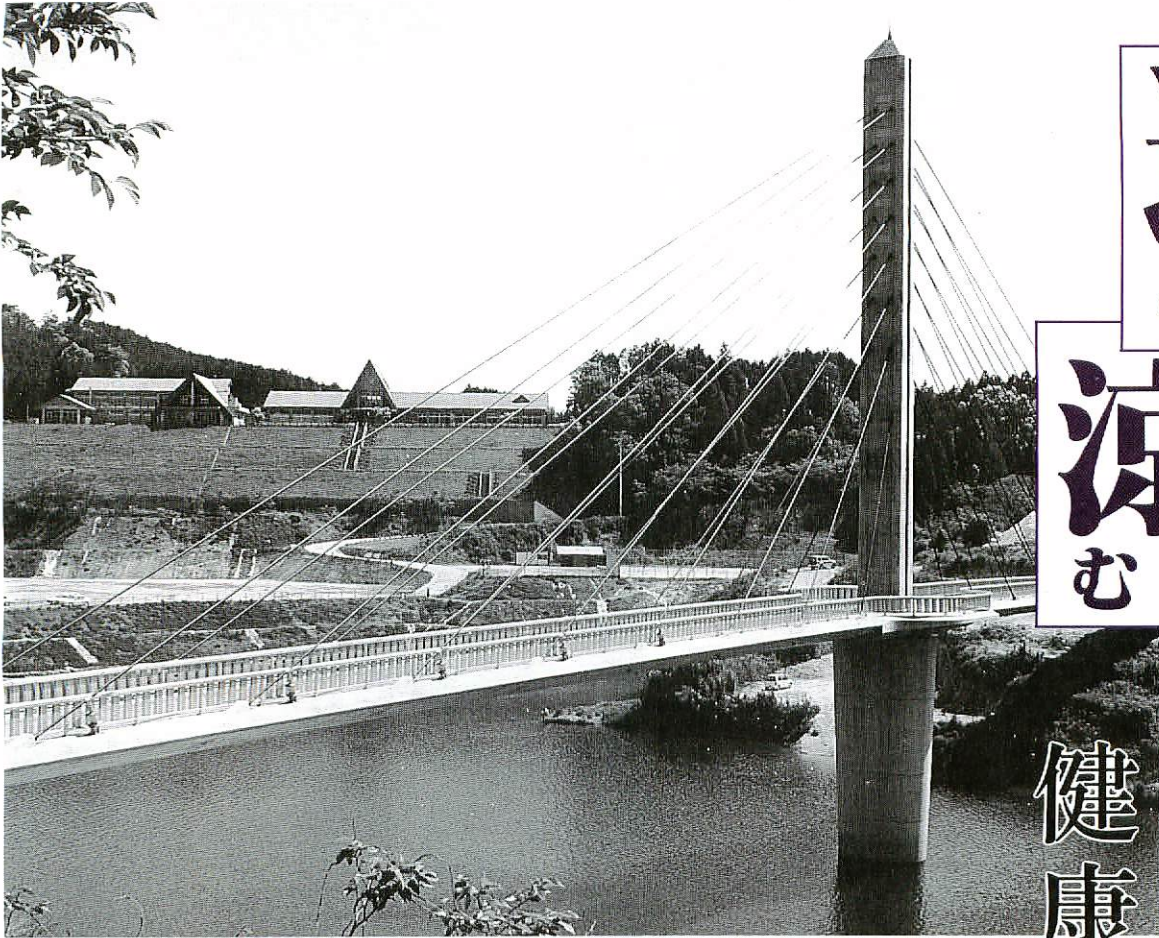
遊
ぶ

涼
む

見聞・鳥栖の

健康遊涼地

けんこうゆうりようち



さわやかな緑の風が吹きぬける河内ダム周辺

健康遊涼

河内ダム周辺

河内ダムは農業用水や干水害に備えた防災・かんがい用ダムで昭和四十五年に完成しました。

このダムの水辺空間を市民の憩いの場として有効に活用するため、ダム湖畔には家族やグループで軽スポーツなどを楽しむことができる多目的の広場やテニスコート、ミニキャンプ場を整備しているほか、今年四月にはダムの両岸を連絡する斜張橋「風の見える橋」も完成しました。ダム上流には豊かな清流を利用した河川プールやホタル水路、鳥の鳴き声が流れるユニークな橋「バード橋」があり、今年度中にはダム湖畔を回遊する遊歩道も整備する予定です。ダム周辺の散策などを楽しんだあとは、すぐ近くの地域

「鳥栖はよそに出かけるのには便利だけど、遊ぶところが少ない」という声をたまに聞きます。確かにスペースワールドや三井グリーンランドといったレジャー施設はありませんが、市街地をちよつと離れると「鳥のさえずり・木の葉のささやき・川のせせらぎ・澄みきつた空」こんな自然にふれあえ、家族や仲間であつちぎ、遊べる場所がたくさんあります。

今号ではこれからの季節、健康と遊びと涼を楽しむ「鳥栖の健康遊涼地」をご紹介します。

休養施設「とりごえ荘」または宿泊施設「やまびこ山荘」へ。鳥越温泉で汗を流して、心も体もリフレッシュしてください。

とりごえ荘の四月から九月まで（夏期）の開館時間は午前九時半から午後九時まで。入浴時間は午前十一時から午後七時まで。使用料百円（小学生以上）と入湯税百円（中学生以上）が必要です。

やまびこ山荘は四人居屋十五室、十一人居屋二室に最大八十四人が宿泊でき、食堂も完備。昼食（五百円程度）や休憩（高校生以上は三百円・入湯税含む）だけの利用もできます。宿泊料金は高校生以上が二千五百七十円から、食事は夕食二千六十円から、朝食七百二十円です。

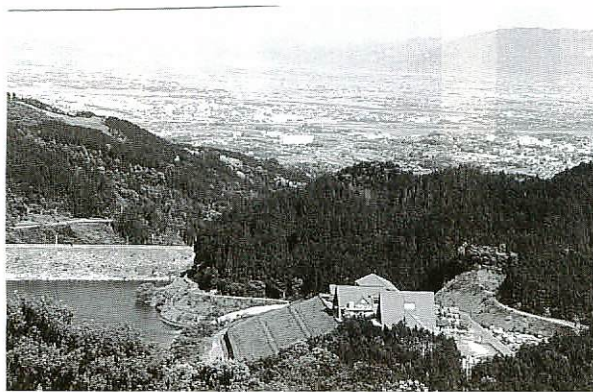


交通（河内ダム・市民の森へ）
 ■バス▽鳥栖駅より鳥栖交通とりごえ荘行・とりごえ荘下車、徒歩5分。車▽鳥栖・筑紫野ハイパス池の内交差点を西へ約15分。◎市民の森入り口、とりごえ荘、やまびこ山荘、バード橋東側の各駐車場合わせて約170台

市民の森頂上に整備された「みはらしの丘」



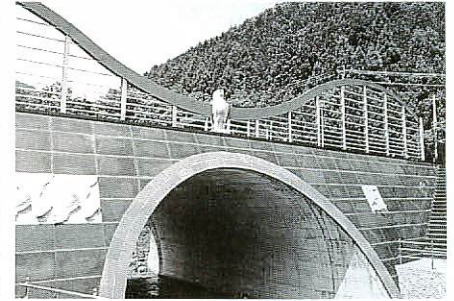
展望台から見下ろした市街地の眺望



とりこえ荘とやまびこ山荘



ユニークな形をしたバード橋



今年整備する市民の森入り口

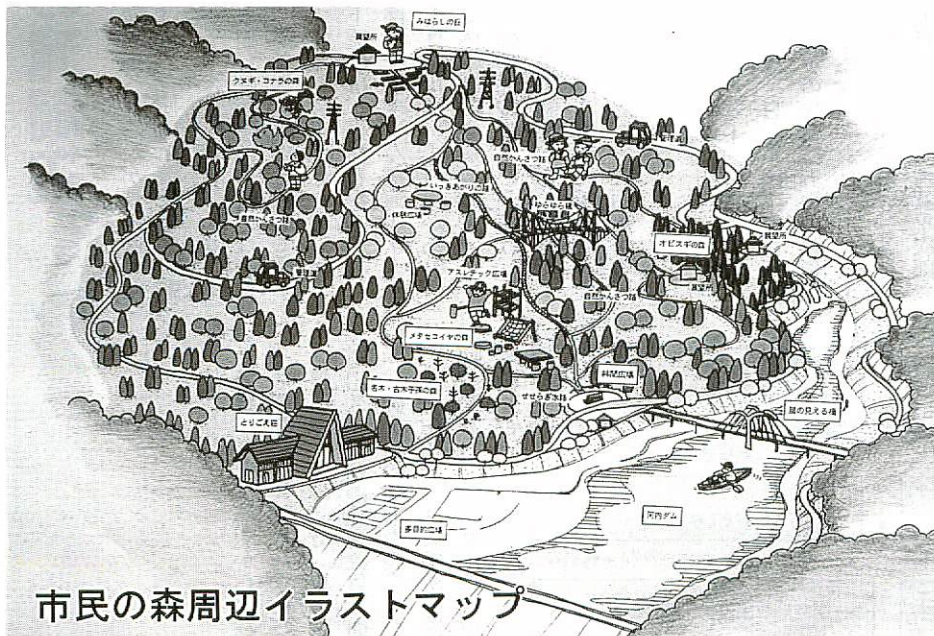


健康
涼
市民の森

河内ダム西側に隣接する市民の森は、カシヤシイ、クヌギなどの自然林が多く残り、スギ、ケヤキ、モミジなどの植栽林と合わせ約四十種一万余以上の樹木が混生。野鳥も豊富でヒヨドリ、コジュケイ、メジロ、ヤマドリ、ウグイスなどが生息し、散策やバードウォッチングが楽しめます。市では昭和五十二年の市民の森オープン以来、気軽に出かけ、より自然に親しめる市民の憩いの場にするため、遊歩道や展望広場の整備、植樹などを進めてきました。現在「みはらしの丘」と呼ぶ山頂には、従来からあったあずま屋に加え、間伐材を活用した展望台を建設、サークルベンチ六基も備え、敷地内には芝生やツツジを植栽しています。

市民の森内には、ほかにも展望台やコンクリート製テールベンチ、あずま屋などを備えた展望所二か所、野鳥の水飲み場、急こう配を利用した「いっきあがりの路」(階段)などを整備。展望所からはダム周辺と市街地を見下ろす景観や遠くは耳納連山までの眺望を楽しむことができます。今年度中には同森内の谷間

に「ゆらゆら橋」を建設するほか、林間広場など入り口付近の整備、案内板・樹木の名板の設置を行う一方、今後は遊具類を備えたアスレチック広場などの設置も検討しています。



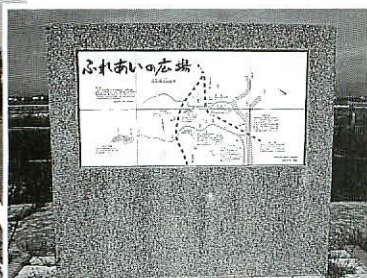
市民の森周辺イラストマップ



家族連れでにぎわう御手洗の滝下流の河川プール



市内随一の避暑地・御手洗の滝



文化財や昔話、SLなどを紹介したモニュメント

涼 健

御手洗の滝周辺

夏は市内外から多くの人が涼を求めて訪れる御手洗の滝（二の滝（下流）と一の滝（上流））があり、一の滝は高さ二十二メートル、幅六メートルで水量も豊富です。周辺は照葉樹林で、林床にはシダ類が繁殖。夏にはヒグラシなどの声が聞かれ、滝しぶきとともに一層の涼感を誘います。

一の滝から約六百メートル下流の駐車場までは親水施設やキャンプ場、あずま屋、散策道などの施設も充実。親水施設は川岸や川底に自然石を敷きつめ、子供たちが水遊びを楽しむことができます。

キャンプ場には常設テント八基やかまど十二基を備えた炊飯棟、トイレなどを設置。キャンプ場手前のあずま屋付近から東西に延びた散策道は、東は雲野尾峠、西は九州自然

健 遊

沼川ジョギング・サイクリングロード

沼川ジョギング・サイクリングロードは、旧国道三四号沿いの村田町・西川橋から三島町・田出島第一号橋までの延長約三キロのコースで、沼川左岸にあった管理道路と旧河川敷を活用し整備。コース途

遊歩道へとながり、途中には擬木を使った階段や太鼓橋ベンチなども設けています。

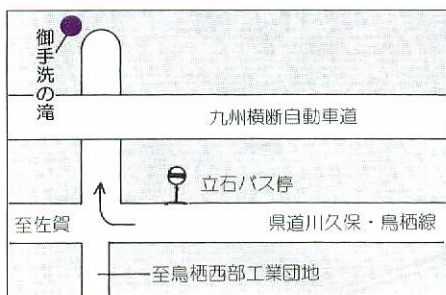
雲野尾峠からは市街地などが一望でき、眺めは最高です。

また、駐車場から約五百メートル下流には、自然石を活かし、渓流を引き込んだ河川プールと休憩用のバーゴラがあり、夏休み期間中解放しています。御手洗の滝という名は、こ

こが室町時代からの霊場で、修験者がこの滝で手を洗って身を清めたことに由来するといわれています。

キャンプ場は七月二十一日から八月三十一日まで開設。料金は一日二千元（テント持ち込みの場合は五百円）。使用申し込みは、六月三十一日までは市商工課（☎3605）、七月一日以降は古賀平次郎さん（☎0055）へ。

具、あずま屋、サークルベンチ、トイレを設けています。「ふれあいの広場」は水辺の自然をテーマに、フナやアナザリガニなどの魚類十九種四十七匹をあしらって清流を再現。「SLの広場」は二基のサ



交通 ■バス▽鳥栖駅から西鉄バス綾部経由久留米行立石バス停下車、徒歩40分。車▽県道川久保・鳥栖線を佐賀方面へ、御手洗の滝案内表示板から北上約10分。◎御手洗の滝駐車場27台、河川プール駐車場約90台

交通 ■バス▽鳥栖駅から鳥栖交通佐賀行村田町バス停下車、徒歩約10分。◎なし

そのほかの「遊涼地」



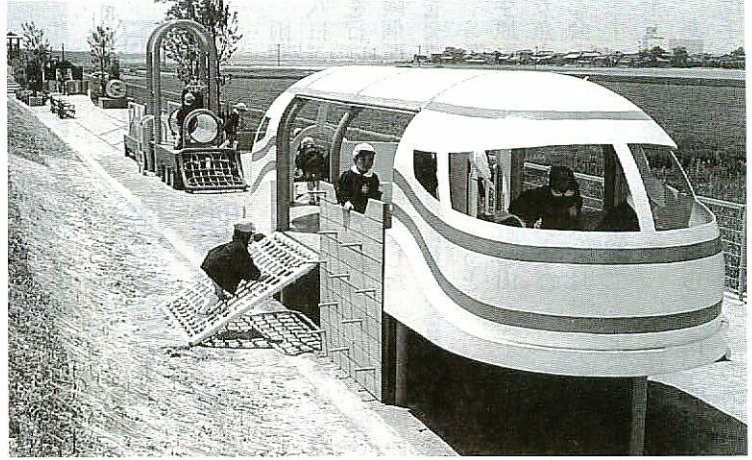
●朝日山芝生広場

朝日山の北斜面9,000平方メートルに芝を敷きつめ、かやぶき屋根のあずま屋や中央に擬木の橋をかけたひょうたん形の観賞用池を整備。広場と頂上とを550段の階段で結んでいます。



●四阿屋

神社境内を流れる溪流。夏は水遊びを楽しめる絶好の避暑地です。シャワー橋もすぐ近く。

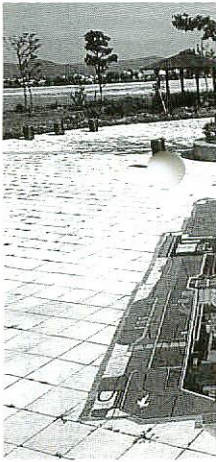


様々な遊具類を備えた秋光川ジョギングロード・休憩施設

休憩施設は家族連れにピッタリ



カラータイルや陶板レリーフで地面にSLを走らせた「SLの広場」



同時に市民の憩いの場として、コース途中三か所には高速度のクローバー型ジャンクションをイメージした橋や遊具類、あずま屋、トイレ、水飲み場などを備えた特色のある休憩施設を設けています。

特にコース南東、秋光川沿いの休憩施設は幅約五メートル、長さ四百三十メートルのスペースを江戸時代、近世、現代、未来の四ゾーンニング。代官所や水車小屋、城などの石のミニチュアやモニュメントをはじめ、山城をかたどった木製のアスレチック遊具や機関車、リニ

健康遊

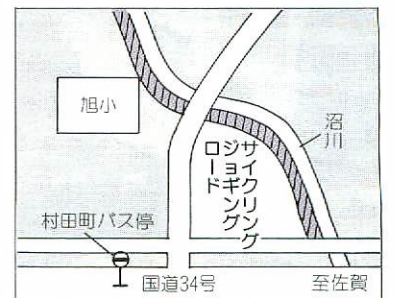
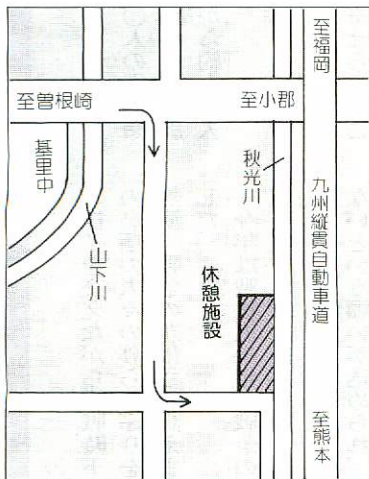
秋光川ジョギングロード

中三か所には、歴史・ふれあい・SLの三つの広場を設け、鳥栖市を象徴する文化遺産、水辺、鉄道をカラータイルや陶製レリーフなどでイメージ化しています。

「歴史の広場」は安永田遺跡を中心とする弥生文化をテーマに、銅鏡、銅鐸などを図案化、動物埴輪を型どった遊

クルベンチをつなぐタイルの線路にSL三両を走らせ、鉄道のまちをイメージ、駅の待合室を思わせる六角形のあずま屋を設けています。

各広場のモニュメントでは、文化財や昔話、SLを紹介していますので、ジョギングやサイクリングの合間に目を向けるのも一つの楽しみです。



基里中学校南側の山下川と秋光川の間を通る市道と河川堤防を活用した秋光川ジョギングロードは、基里公民館南側を起点に延長四・一五キロの周回コース。ジョギングやサイクリングでの健康づくりと同時に市民の憩いの場として、コース途中三か所には高速度のクローバー型ジャンクションをイメージした橋や遊具類、あずま屋、トイレ、水飲み場などを備えた特色のある休憩施設を設けています。

特にコース南東、秋光川沿いの休憩施設は幅約五メートル、長さ四百三十メートルのスペースを江戸時代、近世、現代、未来の四ゾーンニング。代官所や水車小屋、城などの石のミニチュアやモニュメントをはじめ、山城をかたどった木製のアスレチック遊具や機関車、リニ

アモーターカー、スペースシャトルを模した遊具類が並び、子供たちが遊びながら夢をふくらませることが出来ます。

施設内には桜やツツジなど約千八百本を植樹、テンプルセットやベンチ、あずま屋が設置されているほか、入り口付近には約二十台分の駐車場を確保しています。

周囲は緑いっぱいの田園風景。お弁当片手に家族で訪ねてみてはいかがでしょうか。

交通（休憩施設へ）
 ■車
 基里中約100メートル東の交差点を南へ700メートル下った東側・秋光川沿い。鳥栖駅から約15分。②0台



戦争の悲惨さを訴えた市民劇団公演

「文化の風」薫った春の芸能祭 市民劇団は「鳥栖空襲」を再公演

「第九回春の芸能祭」が五月二十一日、市民文化会館で開かれ、市文化連盟所属の二十三団体から約二百人が出演、日ごろの活動の成果を披露しました。

今回の芸能祭のテーマは「風」。出演者らはバレエやダンス、謡曲、日舞などで舞台に明るく、さわやかな「文化の風」を起こしました。

ホワイエでは、お茶席コーナーや「絵画」「書」の展示・即売コーナーが設けられ、売上金二十二万八千三百円が文化振興基金に寄付されたほか、来場者へのラッキー抽選会なども行われました。

また、芸能祭に先立ち、五月十四日には第八回市民劇団

公演「悪夢はめぐる五十年——「鳥栖空襲」二〇〇人の霊に捧ぐ」が同会館で開かれ、家族連れなど市内外から約七百人が訪れました。

今回は昨年十一月の公演後「ぜひ、もう一度見たい」などの要望が多く寄せられたことを受けての再公演。終戦直前の昭和二十年八月十一日に起きた鳥栖空襲を題材に、団員らが竹やり訓練や防火訓練

の様子を交えながら、戦時下の鳥栖の人々の暮らしぶりを熱演、戦争の悲惨さを訴えました。

今年には戦後五十年。戦争の真実を次世代に伝え、同じ悲劇を二度と繰り返してはならないという願いが込められ、爆撃で家族を失う場面では、思わず目頭を押さえるお年寄りや食い入るように見る若い家族の姿が見られました。

雨期に備えて 防災パトロール

雨期を間近に控えた五月十八日、市では防災パトロールを行い、災害が予想される危険箇所二か所を巡回しました。

パトロールには市の関係各課をはじめ、警察署、土木事務所、農林事務所、消防署など防災関係機関から三十人が



危険箇所の現状を視察する参加者

参加。会議の中で山下市長が「みなさんのご協力で、災害

危険箇所も年々減ってきていますが、梅雨期を間近に控え、

少しでも危険が予想される個所については、あらかじめ細心の注意と厳重な防災体制を整え、万一の事態に備えたい」とあいさつしたあと、岩盤崩壊が予想される村田町の陸上自衛隊鳥栖燃料支処南側頂上部と堤体の浸食による破堤が

予想される立石町の本谷ため池の現状を視察しました。

村田町の方は、岩盤の動きを調べる測定器では現在、安定しており、今後も測定は続けていくことにしています。

また、本谷ため池は今年度中に改修工事を行う予定です。

ふるさとの自然を守ろう

ヤマメの稚魚2500匹を放流

ふるさとの自然を守ろうと、牛原町の筑紫会と立石町の山女魚会、河内町の河内やまびこ会の三団体約五十人が五月二十一日、ヤマメの稚魚約二千五百匹を放流しました。

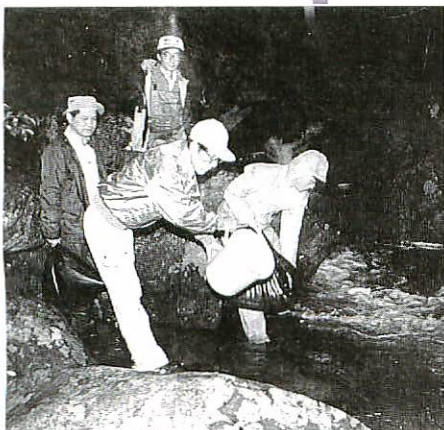
近の安良川と御手洗の滝付近の沼川、河内ダム上流の大木川、四阿屋上流で安良川の支流の河内川の四河川に、体長

約十センチに育った稚魚をやさしく放してやりました。

筑紫会など三団体はヤマメの放流のほか、河川の清掃や

植樹などの環境美化活動に取り組んでおり「稚魚は産卵するようになるまで二年かかります。それまで十五センチ以下のヤマメは絶対に釣らないでほしい。もし、誤って釣っても川に戻してやってください」と呼びかけています。

四阿屋上流の河内川で放流する筑紫会のメンバー



交通ルール身につつけて

市内22か所で交通安全教室



実際路上に出て交通巡視員さんに指導を受ける白鳩園の園児

市と市交通安全対策協議会では、子供たちに正しい交通ルールを身につけてもらおうと、市内二十二か所の保育園、小学校などで交通安全教室を開いています。

五月九日は、交通巡視員や基里地区交通安全指導員など九人が白鳩園を訪問。園児らは交通巡視員のお姉さんによるパネルシアターや交通ルールなどに関するアニメ映画を熱心に見たあと、実際に園北側の路上に出て交差点や横断歩道の正しい渡り方を習いました。

同教室は五月十一日から同二十日までの春の交通安全県民運動の一環。期間中は、街頭での黄色い羽根配布やシートベルト着用指導のほか、県知事からの交通安全メッセージを県内四十九市町村に伝達する「交通安全セラミリー」なども行われ、交通事故防止や交通マナーの向上を市民に訴えました。

「いきいきとした人生送ります」 高齢者教室・婦人学級が開講



市長の講演に熱心に耳を傾ける受講者

や現在市が進めている大規模事業への取り組み、市が抱えている問題などについてわかりやすく説明し、受講者らは熱心にメモをとっていました。

最後に市長は「社会では無責任な事件が起きています。子どもたちの教育問題など私たちが真剣に取り組まなければなりません。みなさんも自分一人ひとりが教育者なんだという気持ちで、りっぱな考え方を子どもや孫に伝えてください」と訴えました。

高齢者教室と婦人学級は田代地区の方を対象に田代公民館が生涯学習活動の一環として毎年開催。地域社会に貢献できるいきいきとした人生を送ってもらおうのがねらいです。今年には二月までの日程で、今回の市長をはじめ、病院長、新聞社論説委員長、裁判官、栄養士など各方面の専門家を招いて講義を聞く予定です。

健康づくりを後押し

「移動保健センター」を開設

をするため、二年前から町区ごとに「移動保健センター」を開設しています。

五月十六日、曾根崎町公民館で開いた同センターには約三十人が参加。保健婦らが血圧測定や、その結果と生活習慣などについて助言する健康

相談を行ったあと、国民健康保険のしくみと現状や保健センターで行っている健康に関する事業を紹介。最後は、骨折でお年寄りが寝たきりになるケースが多い現状をとらえ、基里地区の食生活改善推進員

さんらが作った「あじ団子と

野菜のミルクスープ」などカールシウムが多く入った料理の試食が行われ、参加者からは作り方などについての質問が次々に出されました。

今回は鳥栖地区で実施する予定です。対象となる町区の方はぜひご参加ください。



保健婦に血圧測定や健康相談を受ける曾根崎町のみなさん

国民健康保険に加入しているお年寄り一人当たりの総医療費（国民健康保険や被保険者などが病院に支払ったお金）が約八十九万円と、県内四十九市町村で最も高い鳥栖市（加入者全体でみても三十九万円で四位。いずれも平成五年度分）。

市では、市民のみなさんに適正受診を呼びかけると同時に、健康づくりへのお手伝い

理容士の全国大会で優勝目指す

岩田 博之さん(27歳、儀徳町)



四月十七日に東京で開かれた「東京ヘアデザインナークラ

コンテスト・フォルテバリエーション部門」に出場。首都圏を中心に実力者が顔をそろえる中、見事優勝を飾りました。

「コンテストでは三十五分の制限時間内で、カットとセットがいかに自分のイメージ

を表現できるかが勝負。これまでは最新の情報も入りやすい首都圏の人の優勝がほとんどだったようです」

岩田さんは高校卒業と同時に久留米理美容専門学校に進学、翌年からは「コロナ理容室」の三代目として家業を手伝ってきま

した。平成三年に「将来、自分が経営者としてやっていく以上、もっと技術を磨かなければ」と佐賀、長崎の若手理容士で組織する「ワールドパビオンクラブ」に入会。中央から講師を招くなど週二回の研修会で技術を磨いてきました。

あんひと こんひと

③4 同大会での優勝。県代表として初出場した昨年は十三位と健闘しました。

六月十八日には全国大会出場をかけた県予選が行われるため、専属のモデルを使って連日仕事を終えた午後八時ごろから夜中の二時、三時まで、寝る間を惜しんでの特訓が続きます。

「東京のコンテストは十月に佐賀市で開かれる全国理容競技大会の前哨戦」というように目標は

「十で三つのポイント。雨よけハウスの導入と夏秋芽の収穫。ハウス導入でアスパラガスの大敵であるクマガレ病を防ぎ、夏秋芽の収穫で飛躍的に収穫量を向上させることができます」

この方法は手間はかかりま

農業

新時代

◁49▷

「鳥栖のアスパラガス栽培法」 トップレベルの技術を全国に紹介

鳥栖のアスパラガス栽培技術はトップレベル。これを全国に紹介すべく、今年四月に

鳥栖基山農協野菜市場係長の梁井正義さん(42歳)が「10

アールで3トン取れる梁井式アスパラガス栽培法」を出版

しました。「今、市場では外国産アスパラガスの占める割合が約六割と、国内産を抑えています。これを逆転させるため、鳥栖の栽培技術を役立ててもらおうと執筆しました」



「需要はまだ伸びる」と梁井さん

「十で三つのポイント。雨よけハウスの導入と夏秋芽の収穫。ハウス導入でアスパラガスの大敵であるクマガレ病を防ぎ、夏秋芽の収穫で飛躍的に収穫量を向上させることができます」

「アスパラガスの年間消費量は日本人一人当たり約四〇〇kg。需要の伸びる余地は十分にあります。今後は十で四トンを目指したいですね」

市役所 ままぶ

②6 建設部下水道課浄化センター

高尾 明男



各家庭や工場などから出される汚水が集まる浄化センターでは、ろ過や沈殿などの作業を行って汚水を浄化。処理されてきれいになった水は、再び川へと戻されます。現在、月量約百四十五万立方メートルの汚水処理。下水道の普及につれ、年々増加しています。施設の見学は自由ですので、お気軽にお問い合わせください。

「十で三つのポイント。雨よけハウスの導入と夏秋芽の収穫。ハウス導入でアスパラガスの大敵であるクマガレ病を防ぎ、夏秋芽の収穫で飛躍的に収穫量を向上させることができます」

「アスパラガスの年間消費量は日本人一人当たり約四〇〇kg。需要の伸びる余地は十分にあります。今後は十で四トンを目指したいですね」

「アスパラガスの年間消費量は日本人一人当たり約四〇〇kg。需要の伸びる余地は十分にあります。今後は十で四トンを目指したいですね」

「アスパラガスの年間消費量は日本人一人当たり約四〇〇kg。需要の伸びる余地は十分にあります。今後は十で四トンを目指したいですね」

「小川内のこと」

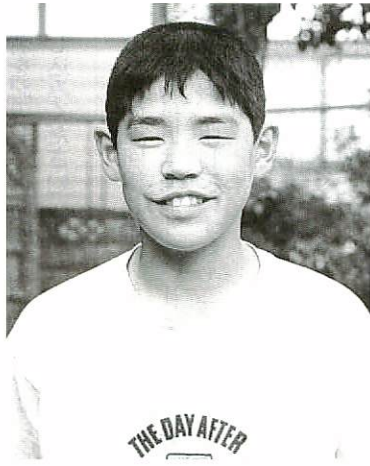
亡き父が、余命いくばくもなしとして書き残した「私の経歴」の中に、十五歳のときから四〇五年間、東脊振小川内に奉公した頃の記録がある。その足跡をたどりたくなり、家内と共に小川内を訪ねた。いわゆる「丁稚奉公」で、一年間の手当が二十二円だったという武広家をはじめ、父がお世話になった大石家、原口家、進藤家等を訪問した。既に一

軒は村外に移転され、古い家屋敷が雑草に囲まれるようになって残っていた。予告なしの訪問で失礼と思ったが、八十歳を越えたおじいちゃんやおばあちゃんをはじめ、各家の皆さんに快く応待していただき嬉しかった。何しろ日露戦争直後の頃の事であり直接父を知っている人はおられなかったが、旧家に残る雇人名簿等を見せて貰う。

当時「基肄養父の人は働き者」と言われていたそう。奉公先の部屋で、夜小用等に立つと、帰って寝る場所がなくなる位のざこ寝だったと父が語っていたが、それらしい土蔵も残っていた。かや切りの場所も遥か彼方の山にあって、奉公先で働く少年時代の父の姿が暎の中で濡れていた。小川内はいま県境の僻地だが、昔は藩境で、刀を帯びて

防人の役もこなす武士が農耕に従事していたという。間もなく五ヶ山ダム建設のため、湖底に沈むと言われているが亡き父が、自らの思い出と共に愛し続けたすばらしい小川内の初夏の景観を、何回もふり返りながら帰路についた。途中山の斜面に作られた蛤水道を見る。この水道は、成富兵庫茂安公が、飢饉から農民を救うためにと建設された

もので、今も美しい水が流れている。また黒田、鍋島両藩の水争いの犠牲となった母子の伝説を残す「稚児落しの滝」「お万が滝」が小川内にあることをその時私は知った。五ヶ山ダムや、九州新幹線筑紫トンネル建設事業等が、大都市圏への取水対策に偏向して、現代版「お万事件」が発生しないよう、私たちは留意しなければならぬ。(山下)



四月三十日に市民相撲場で開かれた第八回市長杯小中学

THE DAY AFTER

「3回戦まではいきたい」と佐藤君

佐藤君は小学一年生の時から市長杯相撲大会に出場し、学年別個人戦で六年連続の優勝。「全国大会の代表にな

「わんぱく相撲全国大会」に出場します。

生相撲大会の個人戦・六年生の部で佐藤吉宏君(田代小六年・神辺町)が優勝。四年生の部と五年生の部でそれぞれ優勝した藤川元氣君(曾根崎町)と下橋佑亮君(前田町)とも七月三十日、東京両国国技館で開かれる

Viva! ビバ スポーツ 46

市長杯で6年連続優勝

わんぱく相撲全国大会へ

ることが目標で、山浦君には絶対負けたくない」というように、試合で幾度となく対戦し黒星を喫したこともある良きライバルの山浦達彦君(儀徳町)を準決勝で破って、いっせいに優勝を決めました。四年生の時に三回戦までコマを進めた全国大会では、佐藤君より一回りも二回りも体の大きい全国の強豪が顔をそろえる中、「三回戦まではいきたい」と意欲をのぞかせ、父親の幸信さんも「全国大会は家族全員で見に行きます」と応援。また、中島竹一・市相撲連盟理事長は「足腰が強く、相撲感もあるので、もう少し体重が増えれば中学に進んでも十分通用する力を持っている」と今後の活躍に期待を寄せています。

会社で見つけた きわやかさん (26)



ホテルピアントス勤務 井上 亜希子さん (19歳、元町)

ピアントスは平成五年八月、鳥栖市初の本格的シティーホテルとして商工団地東側にオープン。四階以上に百二十九の客室を持ち、一階には和食・洋食レストラン、三・四階には宴会場や結婚式場などを備えています。宿泊以外でもお食事や宴会に、ぜひご利用ください。私は東京でバスガイド

を経験したあと、昨年九月にUターンで就職。フロント係で、受付や会計のほか、ご予約などの電話への応対が主な仕事です。型にはまらず、お客様からのご要望などに臨機応変に行動できるように常に心がけています。鳥栖は最近、Jリーグ誘致や様々な計画があり、活気があるまちですね。

「生ごみ処理容器」の購入に半額補助します

生ごみの減量化と再利用を進めるため、市では、家庭から出る生ごみを自家処理して園芸用の堆肥を作る「生ごみ処理容器」を購入される方に、価格の半額を補助しています。容器の大きさは容量百九十九リットル（直径七十二センチ・高さ七十一センチ、あつせん価格六千円）と百三十リットル（直径六十センチ・高さ六十六センチ、同五千円）の二



種類。いずれもあつせん価格の半額を市で補助します。千円、二千五百円がみなさんの負担額になります。

購入ご希望の方は、各家庭に回覧している申込書に住所氏名を記入し、押印のうえお申し込みください。補助は一

世帯につき二基までとなっています。商品の配達は七月で

お問い合わせは生活環境課環境衛生係(☎35561)へ。

福祉

児童手当現況届の提出を

今年五月現在で児童手当を受給されている方に、六月中旬頃、福祉事務所から児童手当現況届の用紙をお送りします。必要事項を記入のうえ、六月三十日までに福祉事務所に提出してください。

詳しくは同事務所社会係(☎3552)へ。

身体障害者巡回相談

県身体障害者更生相談所では、身体や目、耳の不自由な

方のための巡回相談を行います。診断科目は整形外科、耳鼻咽喉科、眼科でいずれも二十人まで。

対象者は身体に機能的障害(内部疾患を除く)があり、身体障害者手帳の交付を受けようとする方または既に手帳を持っている方で、次の内容にあてはまる方——①身体障害者手帳交付の診断②更生医療給付の要否判定③補装具の交付や修理の相談判定④施設入所、障害年金など。

とき 七月五日(水)午後一時～二時
ところ 社会福祉会館
申し込み 早めに福祉事務所社会係(☎3552)へ

保健

母と子の遊びの教室

保健センターでは、親子で楽しく遊ぶための「母と子の遊びの教室」を開きます。

子どもは一歳半を過ぎるころから運動能力も活発になってきます。この時期にお母さんと一緒に遊ぶことは言葉を学び、豊かな感性を育むためにも大変重要です。

お気軽にご参加ください。
とき 六月二十一日(水)午前十時～十一時半
ところ 保健センター

催し

Uターン技術者職業相談会

(財)久留米・鳥栖地域技術振興センターと鳥栖久留米、佐賀、八女の各公共職業安定所などが中心となって関東・関西など都市圏で働き、ふるさとへのUターンを希望する地元出身の技術者とそれを求める地元企業との「Uターン技術者職業相談会」を次のとおり開きます。

これまで十回の相談会にUターン希望者九百四十八人、企業三百六十三社が参加。うち二百五人が再就職し、即戦力として活躍しています。
とき 八月十四日(月)午前十一時～午後三時半
ところ 久留米リサーチセンタービル
問い合わせ (財)久留米・鳥栖地域技術振興センター(☎36060)

第7回鳥の日コンクール入賞者

書道・ポスター

五月十四日の第七回鳥の日は、あいにくの雨になり、会場となった中央公民館では、鳥の日書道コンクールと愛鳥週間ポスターコンクールの入賞者の表彰のみが行われました。入賞者は次のみならずです(敬称略)。

- 「鳥の日」書道コンクール(応募千二百五十四点)
 - 【小学生の部】▽市長賞 宮原舞(旭小一年) 山下友梨奈(鳥栖小二年) 原恵亮(旭小三年) 大石有華(同四年) 吉川有沙(同五年) 篠原里美(麓小六年) ▽議長賞 江崎百合子(旭小一年) 原祥隆(同二年) 大石汐莉(同三年) 水城千賀(同四年) 永野希(同五年) 江崎真由美(同六年) ▽入選 豊増彩華(同一年) 久富紗由美(同一年) 円城寺雅子(同二年) 豊増一彦(同三年) 緒方智博(同三年) 古賀渚(同四年) 江崎朱美(同四年) 真田あゆみ(同四年) 井上裕美(同五年) 陣内美加(同五年) 廣松由美子(同五年) 高木智子(同六年) 河合仁志(同六年) 渡辺真理(麓小一年) 渡辺有紀(同六年) 伊藤沙也香(鳥栖小二年) 伊藤友恵(同二年) 井上純二(鳥栖北小三年)
 - 【中学生の部】▽市長賞 高木嘉大(鳥栖西中二年) ▽議長賞 西尾めぐみ(鳥栖西中二年) ▽入選 豊増美奈子(鳥栖西中一年) 緒方美希(同一年) 山口のみ子(同二年)
 - 愛鳥週間ポスターコンクール(応募六百十八点)
 - 【小学生の部】▽市長賞 野下貴志(鳥栖小五年) 合原和弘(同六年) ▽議長賞 藤久乃(田代小五年) 天本真美(若葉小五年) ▽入選 天本美紀(同二年) 古川真梨(同二年) 中村高明(同五年) 林浩史(麓小三年) 西村佳恵(同三年) 伊東久美子(同五年) 齊藤美佳(鳥栖小四年) 白水浩司(同四年) 宮口真太郎(同五年) 荒木智裕(同五年) 寺崎明子(同五年) 西山樹里(同五年) 野口陽平(同六年) 陶山公亮(同六年) 鐘ヶ江和也(鳥栖北小六年) 松本絵実(同六年) 久保圭儀(田代小四年) 田中華奈(旭小六年)
 - 【中学生の部】▽市長賞 朝日麻美子(田代中二年) ▽議長賞 廣松春美(鳥栖西中三年) ▽入選 田中智美(田代中二年) 榎美枝(同二年) 高倉美香(鳥栖西中三年)

まちづくり文化講演会

県では、六月のまちづくり月間にちなみ、「実践・まちづくり」をテーマに、まちづくり文化講演会を開きます。

とき 六月二十三日(金)午後一時二十分

ところ 中央公民館
定員 四百人(入場無料)

講師 乾亨・立命館大学産業社会学部助教授、犬丸瑞穂・福岡県田川郡金田町助役

問い合わせ 県庁都市計画課 (☎0952-7159)へ

防火管理に関する講習会

とき 七月六日(木)・七日(金)の二日間

ところ 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部三階講堂
受講料 無料(ただし、テキスト代三千五百円を所定の振込用紙で佐賀銀行に納入してください)

申し込み 受講申込書に振込通知書を添えて、六月二十三

日までに鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部予防課建築係(☎832870)へ

商業経営講座

商工会議所では、講師に商業経営指導に定評がある守山勲(株)流通現代・代表取締役社長を迎えて、商業経営講座「競争に勝つ最強の店づくり」を開きます。

とき 六月七日(水)午後二時

ところ 鳥栖商工会館三階
受講料 無料

問い合わせ 鳥栖商工会議所 中小企業相談所(☎833121)

鳥栖高サマーコンサート

とき 六月十一日(日)午後二時

ところ 市民文化会館
前売り入場券 三百円(当日五百円)

問い合わせ 林康司(市税務課 ☎3589)

パパ撮っし



奥山龍治さん・哉恵さんの3男
みち たか 道 隆 くん
(7か月・本鳥栖町)
●ママからひと言
いつまでも兄弟3人仲良しでいてね。

「存じですか」

ホームステイ受け入れ家庭

草の根の国際交流をすすめる地球市民の会では日本語でできる普段着の国際交流・第十回「小さな地球計画」を企画。日本語を話せる在日留学生をはじめ、韓国、台湾など約二十か国の大学生の受け入れ家庭を募集しています。

期間は七月二十三日(日)から八月五日(土)までの二週間九州各県で約百二十人を受け入れる予定です。なお、今回は歓迎会や地球会議(日本語弁論祭)を鳥栖市で行います。

ご希望の方は原康彦(鎗田町 ☎4049)または地球市民の会(佐賀市 ☎0952-243334)へ。

「けし・大麻」の撲滅運動

けし属植物は、その花の美しさから園芸用・観賞用として広く栽培されています。しかし、種類によっては「あへん法」の対象となり栽培が禁止されています。

「けし・大麻」は麻薬の原料となるものもあり、注意して栽培をしなければなりません。

春期の農作業賃金決まる

今年の春期(田植え期)の農作業標準賃金が、五月十五日に開かれた鳥栖市農作業標準賃金協定協議会で下の表のとおり決まりました。

農作業名	単位	機種	試算額	内容
育 苗	1箱		700円	庭先渡し(うるち、もち)
耕 起	平担	10馬力	12,300円	耕起8,200円 代かき4,100円
		22馬力	14,400円	
代かき	山麓	10馬力	14,400円	耕起9,600円 代かき4,800円
		15馬力	14,400円	
田 植	平担	乗用型5条	9,000円	山麓部は平担部の2,000円増し 施肥機使用の時は1,600円増し 苗の運搬費と肥料代は含まない
		乗用型4条	7,200円	
	山麓	乗用型5条	11,000円	
		歩行型4条	9,200円	
防 除	平担	1回	700円	農薬代は含まない 株間防除はゼットホースより50%増し
		山麓	1回	

募集

ん。誤って栽培したり、発見したとき、また、不明な点があれば鳥栖保健所(☎832161)または鳥栖警察署(☎832131)へご連絡ください。

プリンセス佐賀'95大使

県と県観光連盟では、県内の観光や物産、歴史などを国内外にPRしていただく女性親善大使「プリンセス佐賀'95大使」五人を次のとおり募集

資格 県内に居住する十八歳以上の未婚の女性(高校生は除く)で、公的機関が行う諸行事に参加できる方

応募方法 市販の履歴書または応募用紙に必要事項(自己PR等)を明記し、最近六か月以内に撮影した全身正面写真(Eサイズカラー)一枚を同封のうえ、六月三十日までにお申し込みください。なお、自薦、他薦は問いません

応募先 (社)佐賀県観光連盟(〒840佐賀市松原一丁目三五佐賀商工会館二階 ☎0952-6754)

※審査会は七月二日(日)マリティピア(佐賀市)で行います。服装は自由。

訂正 市報五月一日号五ページ・くすり博物館の記事中で、開館時間「午前十時から午後七時まで」は「午前十時から午後五時まで」の誤りでした。また、五月十五日号四ページ・ファミリィハイキングの記事中、史跡めぐりハイキング「柚比遺跡群コース」の日程「五月十四日(日)」は「六月十一日(日)」の誤りでした。おわびして訂正します。

■バドミントン・コスモス クラブ新入部員を募集

練習日は毎週火・木曜日午前9時～正午、市民体育館ステージ側。お子様連れや初心者の方も大歓迎。わかりやすく指導します。問い合わせは三橋千津子(歳上町 ☎②4669)。

■趙国良コンサート

6月3日(土)午後7時、市民文化会館。入場料1,500円(売上金はすべて兵庫県南部地震災害見舞金として寄付されます)。詳しくは鳥栖新聞事務局(本通町 ☎③7470)へ。

■焔博前売り券発売開始

世界焔博の前売り入場券が、6月1日から発売されています。前売り券は当日券に比べ約2割引き(第1期)とおトクなうえ、抽選で県内の人間国宝による陶磁器美術品や旅行クーポン券などの豪華景品が当たるWチャンスも付いています。申し込みは各町区の回覧板、またはプレイガイド、旅行代理店で。詳しくは商工課商工観光係(☎⑤3605)へ。

■鳥栖ジュニアバドミントン クラブ員を募集

練習日は金曜日を除く毎日午後6時～8時、鳥栖中学校体育館。対象は小、中学生の男女。練習の見学もできます。申し込みは直接会場または森田シズヨ(宿町 ☎②4082)へ。

■パートタイム労働ガイダンス

6月15日(木)午前10時～正午、鳥栖勤労者総合福祉センター。パートタイム労働ガイダンスは、これから働きたいと考えている方を対象に、働く前の心構えや労働条件、雇用保険、年金など働くために必要な予備知識について情報を提供するほか、各種相談への細かな助言援助をするものです。問い合わせは(財)21世紀職業財団佐賀事務所(佐賀市 ☎0952②4621 FAX 0952②4721)へ。



鳥栖北部丘陵新都市

愛称は「ヒルトピア柚比」

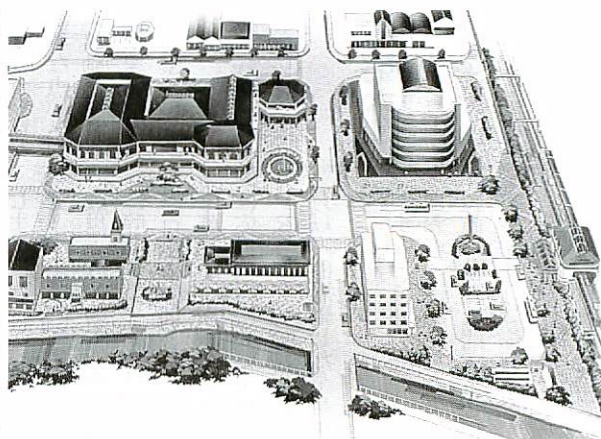
21世紀の新しいまちづくりに向けて
着々と開発が進む鳥栖北部丘陵

産業・学術・住宅が調和した二十一世紀の生活空間を創造する鳥栖北部丘陵新都市開発事業が着々と進む中、地域振興整備公団鳥栖都市開発事務所が募集していた新都市の愛称がこのほど決まりました。愛称は「ヒルトピア柚比」。徳島県名西郡石井町の片山康雄さん(60歳)の作品を一部修正させていただいたもので、ヒル(丘)とユートピア(理想郷)を合わせた造語。ヒルは丘陵を表現し、丘陵地に広がる二十一世紀の明るい空間をイメージ。人間の理想とするユートピアをつくりあげていこうという願いが込められています。

愛称には、市内外から百三十四人二百六十四点の応募があり、五月九日に開かれた同公団をはじめ県や市、地元などの代表五人から成る愛称選定委員会(会長・山下市長)で選定。委員会の中で歴史的、地域的な背景を持つ「柚比」の名を残したいとの意見が強く、片山さんが考えた「ヒルトピア」に「柚比」を加え「ヒルトピア柚比」に決定しました。

愛称は親しまれる新都市の呼び名として、パンフレットなど新都市のピーアールに活用することになっています。なお、入選には次の四人の方の作品が選ばれました(敬称略)。入賞者には記念品をお贈りします。たぐさのご応募ありがとうございます。

- ▽山津京子(34歳、萱方町)
- ▽桜井一之(73歳、秋葉町)
- ▽江島昭雄(68歳、北九州市)
- ▽石川広(50歳、埼玉県川口市)
- 守衛(市内)：男40～65歳、12万円～15万円
- 軽作業員(藤木町)：男50～60歳、時給800円
- 調理師(基山町)：性別不問、20～60歳、15万円～25万円
- 清掃員(藤木町)：女55～60歳、時給650円
- 調理員(元町)：女40～60歳、時給650円～750円



駅前センター(コミュニティープラザ)のイメージパース

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みがあつていきます。詳しくは同相談室(☎⑤3556)へ。

●保安管理職(市内)：男40～60歳、13万5千円～17万円

●守衛(市内)：男40～65歳、12万円～15万円

●軽作業員(藤木町)：男50～60歳、時給800円

●調理師(基山町)：性別不問、20～60歳、15万円～25万円

●清掃員(藤木町)：女55～60歳、時給650円

●調理員(元町)：女40～60歳、時給650円～750円

いけいけ! フューチャーズ



95 JFL (ジャパン・フットボール・リーグ) が五月七日開幕。鳥栖フューチャーズは、県営陸上競技場で一万二千人を超える大観衆の声援を受け、初陣ブランメル仙台を四対三で下し「Jリーグ昇格」に向けた第一歩を踏み出しました。

れました。先日、夫婦そろって鳥栖市内で買い物をされた時、監督のスーツとカッターシャツを買おうと店内を探したところ、あまりに偉大(?)すぎて体に合うサイズが不着もなく、店員さんが驚いていたそうです。



大声援をバックにプレーするDFタタウとFW佐渡谷

また、監督は車の運転が好まきで国際免許も持っています。バックは少々苦手。本人いわく、「ヨーロッパでは車はあまりバックしない」とのこと。監督の車(トヨタマークII)の後ろには駐車しない方がいいようです。

選手のプレーを見るのはもちろんですが、こんなことを考えながら監督を見ているのも面白いのでは…。

プロサッカーホームタウン鳥栖誘致委員会では、六月十一日(日)午後二時から行われる対東芝戦の会場となる小郡市陸上競技場まで直行バスを出す予定です。ご利用ください。詳しくは同誘致委員会(☎05039)へ。

5 12,000人の大声援受けJFL 開幕

中世山城と筑紫氏

Vol.36 島津合戦後 その一

広門の勝尾城奪還頃を境に、北部九州の状況は急激に変化します。この間のことを「九州治乱記」の記事によつてうかがうと以下のようになります。

天正十四年七月二十七日、島津勢により高橋紹運の岩屋城落城。
同八月五日、高橋統増が満下城。
同八月二十四日、島津勢太宰府の陣を払い豊後へ転進。
同八月二十五日、島津方の高島井城秀吉方の立花宗茂により攻められ落城。守る星野一族討死。

同九月初旬、龍造寺政家島津方と手切れ。豊臣秀吉方となる。

同十一月十一日、龍造寺政家筑後へ討ち入り島津方の城を攻める。同十一月初旬、小早川隆景秀吉の命により、大友氏救援のため豊前へ進出。さらに筑前へ討ち入る。同十二月十二日、秀吉方の四国勢、千石、長曾我部ら戸次川の戦いで島津勢に大敗。

以上が天正十四年八月以降の主な動向で、筑前方面からの島津勢の撤退と龍造寺氏の島津氏からの

太宰府市にある智将高橋紹運の居城・岩屋城本丸跡



離反、豊前・豊後方面への豊臣秀吉勢の進出、島津勢と秀吉勢の衝突、という新たな局面へ展開していったことがうかがわれます。

現在では扇風機や室内空調の発達に加えて、網戸と防虫剤の普及でほとんど見られなくなった。消えゆく民具の代表格ともいえるのが、今回紹介する「蚊帳」です。「蚊屋」とも書くように、夏の蚊を防ぐ蚊帳は昭和二、三十年代まで夜寝る時の必需品でした。

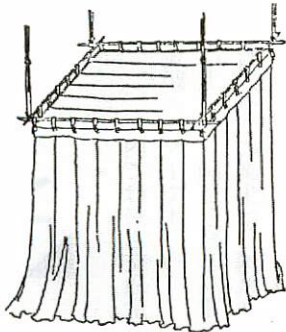
「日本書紀」や「延喜式」などの記述の中にみられることから、奈良時代または平安時代のころに中国から伝えられたものとされています。庶民の間に一般化したのは江戸時代に入ってからで、それまではヨモギやミカンの皮をいぶす「蚊遣」が多く用いられていました。

昭和二、三十年代にみられた蚊帳は、四隅に紐でつづいていましたが、古くは上の縁に竿を通し、それを井桁状に渡して天井からつ

VOL64 ● 蚊帳

消えゆく民具 【生活用具編】

竿を井桁状に渡した蚊帳



クローバー型の鳥栖ジャンクション

九州アイランドを南北に伸びる九州自動車道と東西に走る長崎・大分両自動車道が立体交差する鳥栖ジャンクション。幾可学模様が美しい四つ葉のクローバー型ジャンクションは全国でもここだけ。九州自動車道の一・二と横断道の一・一が四方を結んだ菱形の中に四つ葉型がつくられ、面積は約十八万平方メートル。



幾可学模様が美しいクローバー型は全国でここだけ

え、走行車に淡いオレンジ色の光を投げかけています。四基のうち二基には、佐賀と大分のイメージをピアーする熱気球やハンググライダー、高崎山の猿の絵が描かれ、ドライバーの目を楽しませています。

照明塔の周りには、鳥栖久留米、小郡、基山の三市一町でつくる筑後川流域・クロスロード協議会が共同事業として植栽したツツジ一万七千

日本道路公団福岡管理局の調べでは、昨年一年間に鳥栖第一・第二インターから高速道へ流入した車は三百五十二万台、一日平均では九千六百台余り。逆に両インターから市内へ流れた車は三百三十三万台で一日平均九千百台。県

本が咲き誇っています。九州自動車道の市内通過距離は四・二キロ、建設時には土盛りのために六千車二千台分の土が小郡市三沢から運ばれたといわれています。四つ葉のクローバーが姿を現したのは昭和四十八年、それまでの一面の水田地帯が様相を一変しました。

この年の十一月、九州自動車道の鳥栖―久留米間が開通して一つ葉が誕生、五十年三月、同じく鳥栖―古賀間の開通で二つ葉、六十年三月の長崎自動車道鳥栖―佐賀大和間の開通で三つ葉となり、六十二年二月、大分自動車道鳥栖―朝倉間の開通でクローバーが完全な形を整え、全面的に機能を発揮するようになりました。四十六年一月に着工以来、実に十六年ぶりのことです。

内では最も交通量の多いインターです。国道と結ぶ高速道の交差点の誕生は、国鉄鹿児島本線と長崎本線が分岐し鉄道のまちとして栄えた鳥栖市に、新たな地理的優位性をもたらしました。企業の進出が相次ぎ、鳥栖商工団地や西部工業団地ができました。

未開通の九州自動車道人吉―えびの間は今年の夏、大分自動車道玖珠―湯布院間は来年春に開通予定で、一年後には高速道が全線開通し、鹿児島と約二時間半、大分とを約一時間半で結びます。

高速交通時代を迎え、鳥栖市は時代の寵児として、九州をひとつにつなぐ大きな役割を担っています。

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

vol.1



市の木もちのき
(クロガネモチ)

市の花
ハナショウブ

市の鳥メジロ

人口	平成7年5月1日現在 ()内は前月比		
総数	男	女	世帯数
56,452(+186)	26,984(+84)	29,468(+102)	17,856(+168)

6月の納税

市 県 民 税(1期分) 納期限●6月30日
国民健康保険税(")

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください